

地域精神保健福祉コミュニティー誌

Apr. 2014

No. 197

# ぱる通信

# 4

**特集：『これからの精神障害者の地域生活支援』**

平成25年度精神保健福祉事業団体連絡会合同研修会参加報告



## 『これからの精神障害者の地域生活支援 ～ソーシャルインクルージョンの実現に向けて～』 平成25年度精神保健福祉事業団体連絡会合同研修会参加報告

平成二十六年二月二十八日(金)・三月一日(土)、大田区産業プラザPiO「小展示ホール」にて、『平成二十五年精神保健福祉事業団体連絡会合同研修会』が開催された。

「精神保健福祉事業団体連合会(精事連)」は、全国精神障害者社会福祉事業者ネットワーク(全精福祉ネット)・日本精神保健福祉事業連合(日精連)・全国精神障害者地域生活支援協議会(あみ)の三団体により、昨年の四月に発足。組織の成り立ちや活動理念、事業方針等が異なる中で、これまで独自に活動を行ってきた各団体が、三年前の東日本大震災被災地への復興支援に関する協議を呼びかけ合い、精神保健医療福祉の課題に取り組む姿勢が共通するなかで、障害者権利条約の批准を視野に入れた地域生活支援の推進という大きな課題を追究していくということが発足し、『これからの精神障害者の地域生活支援～ソーシャルインクルージョンの実現に向けて～』をテーマに今回の合同研修会開催に至っている。

ソーシャルインクルージョン社会をどう試行し、追及していくのか、長い経験をお持ちの社会福祉法人JHCB板橋会の理事長である寺谷隆子氏にお聞きし、基礎を学ぼうということと合わせて、三年後に予定されている障害者総合支援法の見直しに向けての話もされた。

### ※ソーシャルインクルージョンとは？

「全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う」という理念である。EUやその加盟国では、近年の社会福祉の再編にあたって、社会的排除(失業、技術および所得の低さ、粗末な住宅、犯罪率の高さ、健康状態の悪さおよび家庭崩壊などの、互いに関連する複数の問題を抱えた個人、あるいは地域)に対処する戦略として、その中心的政策課題の一つとされている。

### ※全国精神障害者社会福祉事業者ネットワーク(全精福祉ネット)

全国の対象事業所の規模や組織形態から、地理的及び現時点の協力体制を考慮して日本列島を4つのエリアに区切り、①北海道を「ネットワーク北日本」、②東北・関東・北陸及び甲信越・東海の一部を「ネットワーク東日本」に、③東海の一部・関西・中国・四国を「ネットワーク西日本」、④九州・沖縄を「ネットワーク南日本」として位置づけ、各地のネットワークは、エリアの会員事業者との情報交換や意見集約等が出来る体制とし、事務局は4つのネットワークと連携しながら、情報の提供やメールマガジンの配信、資料の配付、福祉サービスの向上や制度改善に向けた実態調査等の依頼など



を行い、全国の会員事業者に必要な情報を提供する。

### ※日本精神保健福祉事業連合（日精連）

障害種別を越えた総合福祉法を基盤として精神障害者福祉を増進するためには、共通の福祉ニーズの上に立ち、個別ニーズに応えることができる地域生活支援における精神保健福祉の専門性が必要と考え、広く日本の精神保健福祉を推進する全国規模の事業として組織。

### ※全国精神障害者地域生活支援協議会（あみ）

全国各地で展開されている日常生活の支援、就労の支援などの活動の「点」と「点」を結ぶネットワークを作ること、そこから見出されてくる実践を国の施策に反映させることによって、精神障害者の地域での生活をより「居心地よく」「あたりまえ」のものにするための活動を行っている。



### 記念講演

「東京都板橋区における

ソーシャルインクルージョンの実践」

JHC板橋 寺谷隆子氏

### だれもが支援のパートナー

JHC板橋は Joint・共同、共有、交流・

House・拠点・Cosmos・調和を原点にした取り組みを行い、一九八三年に精神科ソーシャルワーカーたち十一人の共同出資で設立された地域精神保健福祉のための非営利団体で、地域に根ざしたエンパワメントと社会的包摂の包括的生活支援体制づくりを行ってこられました。二〇〇四年の心のバリアフリー宣言の指針が出されたとき、身をもって地域の現場の中で、JHC板橋のみんなと分かち合うために、精神疾患を正しく理解し、理解を促進するという活動を進めながら社会資源として何ができるのか考えられ、クラブハウスモデルの考え方に会われたそうです。これこそが自分たちの願いに叶う活動ではないか！と思い、クラブハウスの活動を始められました。

### クラブハウスの基本的考えと基本原則

#### 【基本的考え】

1 欠点に注目せずに長所に注目する  
2 患者やクライアントではなく、

メンバーである

3 してあげることではなく、

一緒にすることである

4 社会での実際の仕事に就くこと、

クラブハウス内での役割分担作業を

することが意味ある仕事である

5 仕事に就く準備の出来ている人、出来ていない人にも平等に仕事の機会は与えられる

6 過渡的な雇用はリハビリテーション

そのもの、同時に通常のフルタイムの

仕事につくことを支援するもの

#### 【基本原則（メンバーの権利）】

1 誰でも来ることができる

2 いつでも帰ってくるができる

3 意味ある人間関係を持つ

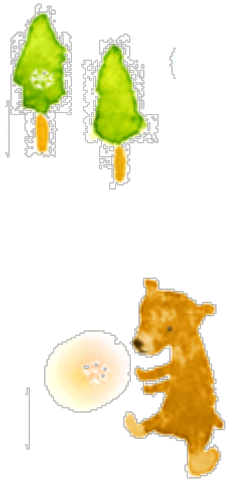
4 意味ある仕事につくことができる

寺谷氏は、ソーシャルインクルージョン社会とは、誰もが社会の構成員として参加・参画し、学び合い支え合う責任を持つ、「人間尊重支援」だと語られていました。

障害者をはじめ、家族、地域住民の参加を基本とする、企業、教育、司法などの多領域を包括した生涯にわたった尊厳を享有した人間の、仲間（ピア）としての支援を意識した取り組み

の中で、社会の構成員の誰もが精神障害のある  
ないに関わらず、排除や差別をすることなく、  
誰もが存在を脅かされず、尊厳を冒されること  
のないクリエイティブな生き方をする権利を  
共有する仲間になっていくことを目指されて  
います。近年はピアサポートというように、精神に  
障害があるかないかを問うというような狭い  
領域の世界へ入り込もうとするが、人生の旅路  
の中で、ある一時期であつても心の健康の危機  
に直面することは誰しもよくあること。ピアを  
孤立させるのではなく、ある一時期においても  
心の健康を脅かされた経験がある仲間として支  
え合うことが大切だと話されました。

JHC板橋の活動は、障害者をはじめ家族や地  
域住民全体の参加を基本としたあらゆる領域  
を包括し、生涯にわたり尊厳を共有した人間の  
仲間として板橋の地域に根ざすこと、このこと  
がエンパワメントとソーシャルインクルージ  
ョンの包括的な生活支援の体制づくりである  
と語られました。最後に「誰もが人間の仲間同  
士になって、だれもが支えあう責任を分かち持  
つ」と力を込めて話されていたのが印象的でし  
た。



## シンポジウム

### 「ソーシャルインクルージョンの視点で 精神障害者の地域生活支援を考える」

#### ◆コーディネーター 木太直人氏

(日本精神保健福祉士協会常務理事)

#### ◆シンポジスト

・伊澤雄一氏 (全国精神障害者地域生活支援  
協議会代表)

・倉知延章氏 (全国精神障害者社会福祉  
事業者ネットワーク代表)

・武田廣一氏 (日本精神保健福祉事業連合代表)

◆コメンテーター 田中英樹氏

(早稲田大学教授)

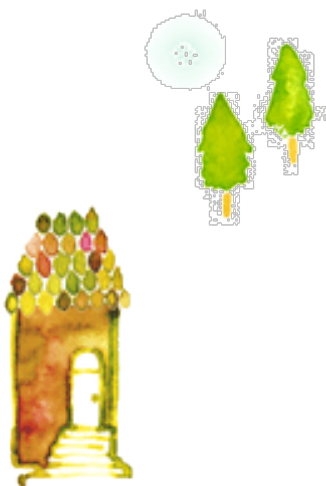
それぞれの立場からソーシャルインクルー  
ジョン実現に向けての課題についてお話を聞  
きました。

伊澤雄一氏は、個々人が *aging in place* (馴染  
み、親しみの、住み慣れた場所、選んだ居場所  
で安心して自分らしく歳を重ねる) を選ぶこと  
ができる社会、誰もが安心な社会を追究してい  
くには、医療との連携や地域支援のマンパワー  
不足が課題であること話されました。それに加  
えて、脱病院を推進し、退院先の確保として、  
グループホームやケアホームの増設は一つの  
方法として大事だが、今後は選択の幅を広げて

いくために新たな居住支援のメニュー開発が  
必要なのではないかと話されていました。

倉知延章氏は、専門的技術や知識を発揮して  
できるような制度設計と周りが安心して働け  
る制度設計の二つが必要で、今のままではソー  
シャルインクルージョン社会の実現が難しい  
のではないかと話されました。今の社会資源を  
整備し、支援事業所のコストパフォーマンスが  
優先され、個々人に対しての重要なフォローア  
ップに手がつけられない現状の改善が課題だ  
と話されました。

武田廣一氏からは、地域生活支援に携わって  
三十年だが、振り返れば施設や事業からの「福  
祉」へのアプローチを行っただけで、地域のな  
かの生活から始まる「福祉」へのアプローチに  
至らなかったと話され、ソーシャルインクルー  
ジョンに立った地域生活支援を行える法制度  
や仕組みをつくるためには、他の障害福祉分野  
だけでなく、高齢者福祉や児童福祉分野と連携  
した「高齢者・障害者総合福祉法案」の政策提  
言が求められるのではないかと話されました。



## 分科会に参加して

「ソーシャルインクルージョンの実現に向けて」をテーマに据えた今回の研修会の企画の一つとして、居住・地域移行・職業生活の各領域においても実践報告と意見交換がなされました。その中の職業生活に焦点を当てた「精神障害者の就労支援」についての分科会の様子を少しご紹介します。

### NPO法人

#### コミュニティ楽創（北海道）の取り組み

### 「IPSモデル」を柱として

「コミュニティ楽創」では、本人が、「病気とお金と相談しながら」「病気ともうまく付き合いつながら」「健康も生活もひつくるめて働く」ことを支援していけるよう、その人の「強み」「ストレス」に着目した支援モデルを紹介されました。

私たちあすなろ福祉会でも、本人の「働く」ための重要な要素として「リカバリー」その人がその人らしく、自分の納得のいく人生が過ごれるようになること」を挙げていますが、こち

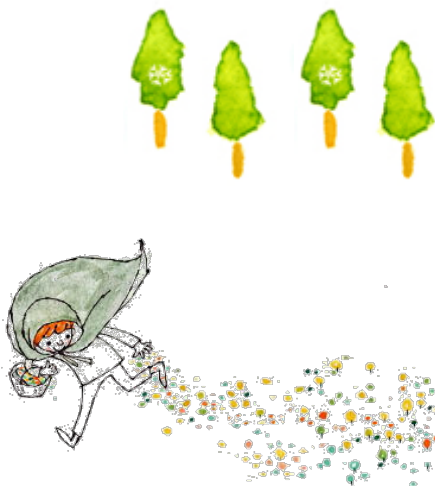
らの事業所でも「本人のリカバリー」への取り組みとして「IPSモデル」を取り入れられています。「IPSモデル」とは、「個別就労支援モデル (Individual Placement & Support)」といって、「どんなに重い精神障害のある人々であっても、本人に働きたいという希望があれば、本人の興味、技能、経験に適合する職場で働くことができる。働くこと自体が治癒的であり、リカバリーの重要な要素となる。」と書われています。その人の「長所や強み」に焦点を当て、本人が「どんなことがしたいか？」を大切にしながら本人を主体とした支援を大事にしています。

その視点に立ち、「コミュニティ楽創」では「支援者の職場への介入は必要最小限に留める」ことを大切にしているそうです。支援者が介入することで、雇用主や本人の不安を解消し、問題解決への即効性はあるかもしれないが、本人が自分の課題を自分自身で解決する力を下げるのではないかとの考えからです。また、精神障害者の職場への定着状況として三か月未満での離職が42.1%、と比較的高い数字であることに對し、果たしてその原因として本人の「症状の不安定さ」「能力の不足」「本人の根性の問題」などに起因するのだろうか？との疑問を投げかけていました。そして、就労支援を円滑に進めるためにも現行制度の課題を洗い

出し、関係機関が本当の意味で連携を図りながら、本人のための、本人が主人公となる「希望」を持てる支援が必要であると力強く述べられています。

これらの話を受け、行政と事業所との柔軟なやりとり、双方が目的を共有し合うパートナーとしての位置づけ、情報提供や助言し合う関係づくりの構築の重要性を再確認しました。また、この分科会の最後にコーディネーターの倉知氏がおっしゃった言葉がとても印象的でしたのでご紹介します。

「われわれは支援者の立場として『制度の枠があつて自分たちの支援スタイルがあるのではなく、まず、どんな支援がしたいのか、どんな寄り添い方をしたいのか、そのためにはどんなサービスや制度が必要で、どう有効活用すればよりその人らしい暮らしを実現できるのか』を常に念頭に置いていなければいけない」との考え方に強く共感し、今後の自分自身の励みにもなるとても有意義な分科会となりました。





視察研修報告

NPO法人わかくさ福祉会  
就労移行支援事業ジネス

〔東京都八王子市〕

【事業内容】 就労移行支援事業

◆カフェ運営

(天然酵母パン&カフェ)

・厨房での作業 ・接客

◆中古本発送業務

・中古本の清掃、梱包、発送、パソコン作業

◆外部実習

・一般企業、スーパー、特例子会社等での実習

◆就労プログラム

・座学による勉強会 ・接客実習

・一分間スピーチ ・会社見学 ・模擬面接

◆定期面談



クロックムッシュ↑



ランチセット↑  
(手作りナン)

○ジネス。○に入る文字はいった何でしょう？  
答えは「ビジネス」＝「仕事」。そして○を埋めるのは、ご本人に秘められた「働くチカラ」。ジネスは、その○を埋めるお手伝いをします。

元々織物工場だった場所を改装し、おしゃれであつたかい空間を作られています。「ジネス」の売りは、何といつても天然酵母のパン。プロのパン職人の方と協働でカフェの運営を行っています。また、中古本発送業務では、インターネットのアマゾンを通して発注を受けているそうです。実習先の開拓にも力を入れており、施設内や企業実習でのアセスメントを通して、ご本人が希望する職場での就労をすすめていくそうです。

【事業内容】 生活訓練・就労移行

◆生活訓練事業

○対人関係の支援・訓練

○食に関する支援・訓練

○洗濯・清掃・入浴・整容の支援

○金銭管理・服薬管理の支援

○交通機関利用・社会資源活用の支援

○趣味・余暇活動の支援

○住環境・家族関係の支援

株式会社MARS  
多機能型事業所MARE（マール）

〔千葉県流山市〕





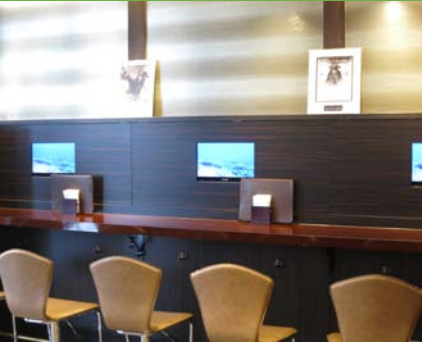
◆就労移行支援事業

- カフェ&バー オリゾンテ
- 事務作業訓練

- ・個別訓練でのパソコンやファイリング等
- 就労に関するワークショップ

- ・関係機関や民間企業の専門家による講座
- ・就労イベントの企画・運営

※精神保健福祉士を中心のスタッフに加え、医療機関での経験豊富な認定ピアサポーターズペシヤリストと共に事業所を運営。



ランチセット↑



『HAPPY CARD』

デザインが得意なピアスタッフの方が作成したカード。  
元気になる言葉が詰まっています♪

「マール」とはイタリア語で「海」という意味。果てしなく続く海は、太古の時代から人間のロマンを秘め、「希望」の源となっていました。「社会」という大海原に航海する第一歩として「マール」はあり、自分らしく生きる事、自分の目標に向かって出発する場所です。

ディズニーの「パイレーツオブカリビアン」をコンセプトとしたカフェ店内は、海底の様子がモニターで映されていたり、スタッフの制服が海賊風だったりと雰囲気作りを工夫。どの部門もピアスタッフを中心に活動されているのが印象的で、カフェでの疑似就労の場や事務作業訓練の場で主体的に活動できるような環境を作り、一般就労につなげていました。ピアの皆さんが責任を持って生き生きと働かれている姿に元気をもらいました！【ピアスタッフは、(株)マーズの中の派遣会社に登録し、派遣されているそうです。】

TOPICS

肉あり、笑いあり、  
桜の下で絆が深まった♪

四月八日（火）、護国神社にて毎年恒例の『お花見会』が開催されました。「絆、今こそ深めよう！あすなろの和」をテーマに実行委員が楽しい出し物を企画。四十名の参加で、桜舞い散る中、肉あり、笑いあり、楽しいお花見会となりました。事業所の枠を越え、交流できた事で、あすなろの絆も深まったのではないのでしょうか♪



## 兵庫県相生市のピアサポーター候補生と交流しました！



三月十七日(月)、兵庫県相生市より、社会福祉法人みどり福祉会の相談支援専門員一名、ピアサポーター候補生二名、実習生一名の四名がピアサポーターの立ち上げのため見学に来られました。以前見学に来られた赤穂市のさんぽみちさんから、クローバーのことを聞いたそうです。

とても乗りの良い方々で、ノリと突っ込みの絶妙の掛け合いがあり、兵庫県民性を感じました。ぜひ、その爽やかで元気な明るさを生かしたピアサポーターになって欲しいと思いました。

また「ぜひピアサポーター養成講座を相生で開催してほしい！」という熱い要望も出ました。みどり福祉会の皆様、お土産に美味しい手作りプリンとクッキーをありがとうございました！！

## <今月のピア電話相談日>086-270-3325

	月	火	水	木	金	土
	14	15	16	17	18	19
AM	○	○	○	スタッフ研修のため閉所		
PM	×	○	○			
	21	22	23	24	25	26
AM	○	○	×	○	○	×
PM	×	○	○	○	○	×
	28	29	30	5/1	2	3
AM	○	×	×	○	○	×
PM	×	×	×	○	○	×

同じ体験を持つ仲間（ピア）と話がしたい、相談にのってほしい！という方、ピア電話相談を是非ご利用下さい！仲間が待っています♪



New face

## 新メンバー紹介

昨年ピアサポーター養成講座を開講し、新たに8期生が加わり活動しています！遅くなりましたがクローバーの新メンバーを紹介します♪よろしくね！

- ① 趣味・特技・好きなもの ② 最近のマイブーム ③ 私のセールスポイント ④ ピアサポートで学んだ事 ⑤ ピアサポーターになろうと思った動機は？どんなサポーターを目指してますか？ ⑥ これからの夢 ⑦ 読者へメッセージ

安納 沙織（あんのう さおり） B型・いて座

- ① 趣味-読書、好きなもの-習い事に通うこと、新しいことを始めること
- ② コーヒーを入れること、立体ラテアートにチャレンジ
- ③ まじめ
- ④ 色々学びましたが、やっぱり人の話を聴くことは難しい
- ⑤ 気持ちにより添えるピアサポーターになりたいです
- ⑥ いろんな人が休憩できる場所を作りたいです
- ⑦ よろしくをお願いします







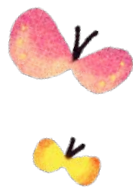
守屋 香（もりや かおり）

A 型・いて座

- ① 読書、インターネット ②ビジネス書を読むこと
- ③ 話しかけやすい雰囲気……？
- ④ 傾聴時の共感の大切さ
- ⑤ 人の話に耳を傾けることで力になりたいと思ったから。

相手が安心して話しかけやすい雰囲気を持ったピアサポーターになりたい

- ⑥ 身近なピアサポーターとして活躍したい
- ⑦ まだまだ未熟ですが、よろしくお願いします。



松田 公代（まつだ きみよ）

A 型・おひつじ座

- ① 音楽を聴くこと ②オセロの対戦
- ③ 優しく、丁寧に話をする（聴くことができる）
- ④ 自分の意見を押し付けない
- ⑤ 人は絶望の中にいても希望を持つことができます。そんな方を支えるために自分も何かお手伝いしたいと思っていました。安心して楽しく時間を過ごしてもらえるようなサポーターになりたいです。
- ⑥ クローバーの仕事を無理せず、もっと日にちを増やせて頑張りたいです。
- ⑦ 毎週水曜日を楽しみにしています^^



ぱるっこのお勧め文庫

一統合失調症から教わった14のことー

「若い世代に伝える心の授業」  
仕事を失い、家族を失い、家を失いながらも、人間の尊厳をかけてこころの病氣と闘った、ある元教師のメッセージ。  
ラゲーナ出版（2014）著者：中山芳樹  
感想言葉一つ一つにご自身の心の病との真摯に関わってきた中山さんを感じました。ぱるで楽しそうに談笑される中山さんの実り多き「人生の下り坂」を願います^^ お勧めです！木曾



ぱるの利用者の中山さんが出版されました！ぱるで購入できますよ★

奇跡 匿名  
いくつもの分かれ道を選んだ先で振り返る  
もしあの道を歩いていたら  
どんな運命があつただろうと  
でも迷わない  
道は  
進まなければ先は見えない  
歩めなかつた道の先を  
無駄に想像しても  
足跡は進んだ道にしか残らない  
それを僕は分かつてる

ぱるっこ広場

古楽日和 こがくびより

藤井 健喜

去る（二〇一四年の）一月二十四日、マックintoshが誕生から三十周年を迎えた。といつてもなんのことだからわからない人も多いと思う。マックintoshというの、米国アップル社が開発、販売しているパーソナルコンピュータのことで、その初めての製品が発売されたのが、三十年前の一九八四年のことなのだ。

アップル社は、創業当時はアップル・コンピュータと称していて、そもそものはパソコンなどコンピュータを作っていた会社だった。それが今ではスマートフォンやタブレットといった製品をも作っている。アップル社といえばスマートフォンやタブレットの会社だと思われている人も多いだろう。そういったこともあり、いつしかアップル・コンピュータ社は社名から「コンピュータ」の文字を外してしまった。コンピュータ以外の分野に進出した同社は、もはやコンピュータだけの会社ではなくなった。かつてパソコンといえば、ビジネスに欠かせない道具として、一世を風靡した。その勢いはウィンドウズ95の登場とともに一般家庭にまで浸透した。パソコンは社会に必要不可欠な製品として認知されたのである。ところが今はその同じ場所にスマートフォンやタブレットが居座っている。IT産業の移り変わりの早さにはおどろくばかりだ。そうした中、マックintoshが三十周年を迎えたというの、なんとも時代の皮肉を感じてしまうのだ。

# INFORMATION

## 4月の予定



4 月		
10	木	
11	金	
12	土	お抹茶教室 14 時～ 鉄ちゃん 13 時～
13	日	カラオケサークル 10 時～
14	月	ソフトボール 13 時～
15	火	ばるランチ・つどい 11 時～ 陶芸 13 時半～
16	水	SST10 時～ パソコン講座 13 時～
17	木	↑ ↓ スタッフ研修の為閉所します 17 日～19 日
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	ソフトボール 13 時～
22	火	パソコン講座 10 時～ 陶芸 13 時半～
23	水	パソコン講座 13 時～
24	木	女子会 14 時～
25	金	
26	土	山登り ばる閉所
27	日	
28	月	ソフトボール 13 時～
29	火	昭和の日
30	水	SST10 時～ パソコン講座 13 時～
5 月		
1	木	WRAP10 時～
2	金	
3	土	憲法記念日
4	日	みどりの日
5	月	こどもの日
6	火	振替休日
7	水	パソコン講座 13 時～
8	木	
9	金	

### 『ばるスペースMOMO』 営業お休みのお知らせ

現在、『ばるスペースMOMO』は、店内整備  
の為、お店の営業をお休みさせて頂いています。  
お店の再開が決まり次第、皆様にお知らせさせて  
頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

MOMOスタッフ一同



- 発行: 社会福祉法人あすなろ福祉会
- 〒703-8256 岡山市中区浜475-5
- 編集: ばる・おかやま
- TEL: 086-270-3322 FAX: 086-273-9692
- E-mail: pal-oka@mx35.tiki.ne.jp

12日(土)

### お抹茶教室

おいしいお抹茶とお菓子を頂きながら、  
ゆっくりとした時間を過ごしませんか♪

時 間 14:00～  
場 所 ばる2階

### 24日(木) おしゃべり大好き女子集まれ! 女子会♪

毎月1回、楽しい雰囲気の中テーマを決めて、  
女子トークに花を咲かせています。

時 間 14:00～  
場 所 ばる・おかやま

16日・23日・30日

### パソコン講座

個別で進める講座です。初心者でも丁寧に進め  
ていくので安心です。基本火曜日にしています。

時 間 13:00～  
場 所 Job Support Center ASUNARO  
参加費 無料

14日・21日・28日(月)

### ソフトボール

共に汗を流しませんか? 4月23日に万成フ  
ェニックスと練習試合があります!

時 間 13:30～  
場 所 百閒川河川敷

15日・22日(火)

### 陶芸教室

土を触ると癒されますよ。基礎からご指導します。  
独創的な自分の作品を作りましょう。

時 間 13:30～  
場 所 ばる1階

26日(土) トレッキングへ行こう♪

### 春の山登り

リニューアルされた貝殻山へ一緒に登りません  
か? 山登りが初めての方でも登れる山です^^  
山頂で食べる弁当は格別ですよ♪

時 間 9:30  
集 合 ばる・おかやま  
参加費 350円(弁当代込)  
持ち物 1リットル以上水分、動きやすい服装  
申し込みが必要なので参加希望者はお問い合わせ  
下さい(担当: 田中)